

# JFA ユニクロサッカーキッズ in 岩手写真館

\*\*\*\*\*

開催日: 2020年9月27日(日) 午前の部 受付時間 09:30~10:00/開会式 10:10/試合 10:30~12:07

会場: 高田松原運動公園 第一サッカー場(人工芝)

主催: 公益財団法人日本サッカー協会/公益社団法人岩手県サッカー協会

主管: 公益社団法人岩手県サッカー協会

後援: 岩手県/岩手県教育委員会/陸前高田市/陸前高田市教育委員会/公益財団法人岩手県体育協会/  
陸前高田市体育協会/岩手日報社/IBC 岩手放送/テレビ岩手/めんこいテレビ/岩手朝日テレビ

特別協賛: 株式会社ユニクロ

スペシャルゲスト: いわてグルージャ盛岡スタッフ3名(田中舜、益子義浩、塩野良太)

運営スタッフ71名: 岩手県サッカー協会キッズ委員会スタッフ14名/陸前高田市サッカー協会スタッフ5名/  
高田高校サッカー部17名/大船渡東高校サッカー部7名/大船渡高校サッカー部20名ほか

内容: 6人制ゲーム(1チームあたり3試合)

試合時間: 前半5分、後半5分、1ピッチのサイズ: 26m×13m程度(6ピッチ)

対象: 6歳以下の未就学児で、6人以上で構成されたチームか個人  
(小学生は不可。サッカー経験の有無、男女は問わない。)

参加者: 174名(男138名、女36名)

午前の部 11チーム74名(男59名、女15名)、個人参加100名(男79名、女21名)

## <入場ゲートで検温とアルコール消毒、開会式、準備体操の様子>



提供: オールスポーツコミュニティ



提供: オールスポーツコミュニティ



提供: オールスポーツコミュニティ

<試合・見送りの様子>





提供：オールスポーツコミュニティ



提供：オールスポーツコミュニティ



提供：オールスポーツコミュニティ



提供：オールスポーツコミュニティ

## <参加者・保護者からのコメント>

- ・サッカーは楽しい！と感じることができたようで、親としてはありがたかったです。
- ・みんな楽しそうにプレーしていて、観ているこちらでも楽しくなりました
- ・初めてのサッカー経験でした。とても楽しそうに走り回る姿を見て親も楽しかったです。審判の方など試合を皆が楽しめるように配慮してくれている姿が印象に残っています。そしてスタッフの皆さん、地元高校生の皆さんとても爽やかでかっこよかったです☆息子もまたサッカーしたいと言っていました。本当にありがとうございました。
- ・大会の進行や子どもを引率するスタッフさん、試合もスムーズで安心して子どもをお願いすることができました。幼い子どもだけでの試合だったので、うまくできるか心配でしたが、審判やスタッフさんの球回しがよくて、子どもがシュートを決めたり、たくさんボールに触れられてよかったです。待ち時間も子どもが飽きないようにしていただき、本当に良かったです。
- ・Tシャツのデザインも良かったです。”
- ・サッカーを始めるきっかけにはもってこい
- ・子供がとっても、楽しかったと喜んでいました。同じ年のこどもたちと、なかなか試合をすることがないので、とてもいい経験でしたあ。
- ・試合が終了したチームから解散するシステムはよかったです。でも、賞状やちらしをもらうことを把握していなかったのも、そのまま帰られる方もいたのではないかと思います。開会行事の中で、賞状が試合終了後に配布されることを一言お知らせいただけるとありがたいです。
- ・初めてのサッカーだったので、ボールの蹴り方や 簡単なルールなど試合前に教えてほしかったです。
- ・今回はコロナで、閉会式がなかったようですが、次回もあれば閉会式はなくて終わったチームから解散だと助かると思いました。出口や駐車場が混みすぎずいいと思いました。

## <スペシャルゲストのコメント>

今回の「JFA ユニクロサッカーキッズ in 岩手」に参加させていただき誠にありがとうございました。また、このようなイベントを開催するにあたってコロナ感染対策含め、準備をしていただいた関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

いわてグルージャ盛岡スタッフとして参加させていただき、コロナ禍ではありますが、たくさんの子供たちが参加し、笑顔で元気に走り回ってボールを追いかけている姿を見てこちらが元気をもらえました。何より子供たち自身が楽しそうにサッカーをしてくれていた事が嬉しく思います。サッカーを通して、スポーツをする喜びを感じてもらい少しでも良い思い出にしてもらえたら幸いです。この度は誠にありがとうございました。

いわてグルージャ盛岡スタッフ 益子義浩

## <運営スタッフのコメント>

9月27日曜日に高田松原運動公園第一サッカー場で開催された「JFA ユニクロサッカーキッズ in 岩手」においては、新型コロナウイルス感染防止のため、参加する子供はもちろん、付き添いの保護者等にも手指消毒や検温をお願いするとともに、応援の際にも密にならないようお願いする等いつもとは違う準備をしなければならなかった日本サッカー協会、岩手県サッカー協会関係者の皆様は大変だったと思います。

感染予防のためきちんと準備し、きちんと対応していると分かっているにもかかわらず、感染者がいたら、感染者が出たらという不安な気持ちがありました。無事開催できたのは、運営に関わったサッカー関係者の努力はもちろん、消毒、検温に快くご協力いただいた保護者等の方々があったのことに感じています。

参加した子供の中には、保護者と離れてグラウンドに入ることに不安を感じたのか、泣いたり、ぐずったりする子供もおりましたが、だんだんと慣れてくると、みんなと楽しくボールを追いかける様子や相手に負けないよう真剣にボールを追いかける様子、また、転んでも直ぐに立ち上がり走り始める姿、ゴールを決めて喜ぶ姿、本当に楽しそうにしていました。帰るときには、泣いたり、ぐずったりしていたのが何だったのかと思うほど笑顔になっておりました。

参加した子供たち皆が笑顔になれたのも、子供たちを指導していただいた、県サッカー協会キッズ委員会スタッフ、いわてグルージャ盛岡スタッフ、高校生スタッフの皆様のお力があったのことに感じています。ありがとうございました。

今後においても、「だれもが、いつでも、どこでも、サッカーを身近に心から楽しめる環境」に一歩でも近づくため、地元協会として協力してまいりますので、よろしくお願いたします。

陸前高田市サッカー協会  
総務部部長 高橋良明

ユニクロサッカーキッズの高校生スタッフとして、小さな子どもたちと話したりサッカーをしたりすることは私にとって新鮮な経験でした。子どもたちが知らない環境を前に緊張したり恥ずかしがったりしている様子を見て、初めは私も戸惑いましたが、一緒にサッカーを楽しむ中で、人と人がつながりスポーツを楽しむことは大切だと感じました。ユニクロサッカーキッズの運営に関わることができ、貴重な経験となりました。ありがとうございました。

高田高校サッカー部 2年 臼井瑠夏

今回、ユニクロサッカーキッズの補助員として参加できると聞いて、最初は子どもたちと上手く話すことや笑顔でサッカーをさせてあげることができるか不安でした。しかし、本番1週間前の事前打ち合わせに参加した時にスタッフの方から子どもたちと上手く話すことや楽しい遊び方を教わることができて最初よりは上手くできそうだと自信を持つことができました。

本番では、実際に子どもたちと遊んでみると指示とは違う場所に行ってしまうたり、飽きて泣いてしまったりする子がいて事前打ち合わせの時に教えてもらったことが上手にできませんでしたが、だんだん子どもたちも心を開いてくれて話しかけてくれたり、指示を聞いてくれるようになってきて笑顔で終わることができました。

今回のユニクロサッカーキッズでは、日常ではなかなか体験できないことを体験することができ、とてもよい経験になりました。この経験を残りの高校生活や将来に活かしていきたいです。最後になりますが、貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

大船渡東高校サッカー部 2年 田中泉

ユニクロサッカーキッズフェスティバルに参加して、自分は、もともと子どもと関わるのが好きなので、とても楽しみでした。実際、多くの子どもたちと関わってみて、子どもならではのパワフルさを感じることもでき、色々な子どもとコミュニケーションをとることができて、とても楽しかったです。しかし、コミュニケーションをとるうえでは、自分の意図する質問と違う答えが返ってくるがあったので、世代間のコミュニケーションは、言葉選びも工夫しなければいけないと感じました。今回、このような貴重な体験をすることができたのは、コロナ禍でも開催するために尽力してくださった人たちや私たちを参加させてくれた周りの人たちのサポートのおかげなので感謝したいと思います。

大船渡高校サッカー部3年 今野 優大

## <全体統括責任者からのコメント>

4年連続12回目の開催を迎えたUNIQLOサッカーキッズin岩手。今年もたくさんの方々のご尽力をいただき開催することができました。

今年の舞台は遠野から陸前高田へ！今年完成したばかりの高田松原サッカー場!!で初の沿岸地区での開催となりました。

このような場所で開催できたこと、とてもうれしく感謝しております。

今年は新型コロナウイルスが流行中！開催中止も考えられましたが、岩手では感染が広がっていないこと、そして多くの方々の熱い思いもあり、感染対策をしっかり行い開催することとなりました。

「この会場から感染者を出さない」ことを目指し、スタッフ全員マスク・グローブの着用、試合の間にはゴール・ボール等の用具の消毒を行いました。

密を避ける為にコートの間隔を広く取りました。このことにより参加人数が制限、参加者が少なくなり午前中のみでの開催となったことで参加できなくなった子供たちがおりました。すみませんでした。

保護者の方々はピッチの中に入らず、フェンス越しに観戦することになりご不便をおかけしました。

そのような状況で子供たちは楽しめるのだろうか心配しておりました。子供たちは不安な気持ちもあったとは思いますが、実際に始まってみると、子供たちの走り回る姿や賑やかな声が聞こえ、新しいお友達と一緒に思い思いにサッカーを楽しんでいるように見えました。そして私たちにたくさん笑顔をくれました。

その笑顔を引き出した立役者がおりました。高田・大船渡・大船渡東高校の高校生スタッフです。

高校生は子供たちを楽しく・笑顔にするためにしっかりと準備をしてくれました。

当日はアトラクションの開催が無くボール等も使用できない状況、さらにはマスク・グローブを着用と初めて見る子供たちと接するには厳しい条件の中、がんばってくれました。

泣きだす子や輪の中に入れない子もおりましたが、その子たちとあきらめずに接し、最後には一緒にボール蹴っていました。素晴らしい高校生の力でした。

最後に今回の機会をつくってくださったUNIQLO様、日本サッカー協会青木様、西村様をはじめ、たくさんの方々のおかげでこのフェスティバルを行うことができました。改めてみなさまに感謝いたします。ありがとうございました。

全てを支えてくれたスタッフに感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

岩手県サッカー協会 フェスティバル担当 佐藤洋充

(編集：事務局 蝦名)